

平成27年度ツインクルプログラム前期学生派遣活動報告

平成27年度前期は、爆弾事件による治安悪化からタイ派遣が中止になり、インドネシアの2大学へ学生派遣を行いました。以下、派遣先大学毎に主な活動をご紹介します。

○インドネシア・インドネシア大学(UI)

派遣期間: 2015年8月24日(月)～9月5日(土)

派遣学生: 10名(教育学部4名、工学部2名、工学研究科2名、融合科学研究科2名)

実習高校: SMA Negeri 3 Depok、SMA Negeri 70, Jakarta

科学の授業では「LED」と「Artificial Intelligence(人工知能)」をテーマに行った。UIで授業内容をプレゼンした際には、実験内容は非常に評価されたが、学生の英語の話し方や文法について改善しなくてはならないとの指摘を受けた。本番の授業では生徒たちの楽しみながら積極的に参加する姿勢が見受けられた。高校の生徒達の英語力も高くはなかったため、UIの学生のサポートが助けになったという場面もあった。科学の授業後には、学生達は折り紙を、高校の生徒達はインドネシアの伝統的なダンス(Tari PiringやSaman Dance)を教え合うという文化交流会も行った。



インドネシア大学工学部学生によるキャンパスツアー



授業の様子(科学実験の補助を行う)

○インドネシア・バンドン工科大学(ITB)

派遣期間: 2015年8月24日(月)～9月5日(土)

派遣学生: 8名(教育学部1名、教育学研究科1名、工学部2名、工学研究科2名、融合科学研究科1名、法経学部1名)

実習高校: BPK Penabur Holis Christian Senior High School、Senior High School 1 Bandung

両ユニットともおとなしい学生が多いが、チームワーク良く活動が行われている。ITBと実習先の歓迎ぶりに感動している様子が覗えた。科学の授業は「地震と建築術の関係」と「有機エレクトロニクスの原理と将来性」をテーマにし、ITBの教員や学生からコメントをもらい現地でも授業改善等に熱心に取り組んでいた。高校では突然のパフォーマンス依頼に、日本の歌と踊りで場を盛り上げたり、生徒たちの質問に英語で丁寧に答える姿を見ることが出来たりと、生徒および教員ともに大変喜んでいただいた。



SMA BPK Holisでの歓迎会で挨拶



授業の様子(野菜抽出液のUVライトによる蛍光現象)